

2/6 24.7A

日本共産党が発表した統一地方選挙政策アピール（2日）は、大軍拡ストップを掲げ、「敵基地攻撃ミサイルを南西諸島などひめ全国各地に配備するの反対します」と訴えています。岸田文雄政权が昨年12月に決定した「安保33文書」は、敵基地攻撃能力の保有、を打ち出し、周辺諸国に矛先を向けた長距離ミサイルを各地に配備し、日本列島の「ミサイル基地」化を進めようとしています。地域から「敵基地攻撃ミサイルの配備であるおもいを戦場にするな」の声を上げてこないのが大切です。

敵基地攻撃の危険

主張

配備を狙っています。

地上発射型では、陸上自衛隊の「12式地対艦説導弾」の射程を現在の200kmから1,000km超に延ばす「能力向上型」を開発・量産しました。同説導弾は、「南西諸島の防衛体制の強化」を口実に、熊本市や沖縄県の宮古

誘導弾（能力向上型）や
レーダーによる射撃も可能で、
機動性と火力を兼ね備えた
戦闘機として高い評価を得ています。

（一）超音速艦船発展計として、米国がイランが計画されやアフガニスタンへの先制攻撃の前者は射戦争で使用した巡航ミサイル「トマホーク」（射程1600キロ）を購入し、海上自衛隊のイージス艦に搭載しようとしている。12式地対艦誘導弾能力向上型を採用する。この距離（サイルを各種護衛艦に

配備先は報復攻撃の対象にされた。日本政府は、米軍が世界規模で構築する「統合防衛」(IAMD)に組み込まれ、事实上米軍指揮下で運用される」となります。集団的自衛権

を打ち出し、周辺諸国に矛先を向けた長距離ミサイルを各島に配備し、日本列島の「ミサイル基地」化を進めようとしています。地域から「敵島攻撃ミサイルの配備によるなどを戦場にするな」の頭を上げて、いかが大切です。

島、鹿児島県の奄美大島に配備され
てきました。さらに沖縄県の石垣島やうるま市にも配備されよう
としています。これら既存の誘導
弾が能力向上型に置き換えられる
とみられています。

日本のミサイル基地化許すな

四

航空機発射型では、航空自衛隊の最新鋭戦闘機F-35Aに対地・対艦ミサイル「JSM」(射程500km)、F-15戦闘機(能力向上機)に対地ミサイル「JAAM」(射程900km)を装備します。F-2戦闘機に12式地対艦説導弾能力向上型の搭載も計画しています。

米軍が敵空を始めれば、「本気で力攻撃を受けていないのだ、自衛隊は米軍と一緒にって敵基地攻撃に乗り出すことになります。

そうなれば相手國から報復攻撃を受け、長距離ミサイルの配備先は真っ先に攻撃目標となり、日本は焦土と化します。

米国が翻弄を始めたれば、日本は猛烈な力攻撃を受けてしならうのに、自衛隊は米軍と一緒にって敵基地攻撃に乗り出さないといけません。そなれば相手國から報復攻撃を受け、島嶼離島サイルの配備先は真っ先に攻撃目標となり、日本は黒土と化します。

統一地方選で日本共産党を躍進させ、「大軍拡ノイ」の審判を下すのが心地して必要な事です。

配備先は報復攻撃の対象

艦船発射ミサイルで、米国がイラ
やアフカニスタンへの先制攻撃の「ト
戦争で使用した巡航ミサイル「マ
ホーク」(射程1600キロ)を

配備先は報復攻撃の対象